

提案

日付：2022/6/20

件名：住民の意向のくみ上げ方と行政の考え方（試算もふくめ）

1.問題、課題

前回、アンケート回答の7割ほどが戸別収集は必要ないとしているとの説明に対して、疑問を投げかけました。どうしても、町が今起こっている問題を解決する気はないという後ろ向きの姿勢を感じるからです。

最初、近所の人たちのためと、私有地を提供、もしくは前の道路で、5，6世帯ではじめた可燃ゴミ集積所に、開発業者による世帯増で次々とゴミが増え、自分の家の玄関の近くに山のような可燃ゴミが週2回積まれるような人の気持ちを行政の方々は考えたことはありますか？寒川町の美観からいっても悲しい光景です。でも、集積所から離れている人は「今のままでいい」と考えるのでしょうか。

戸別収集を他市に先駆けて始めた藤沢市が有料化、戸別収集に先立って行った、平成17年のパブリックコメントの中、5の（4）でも、このような意見が出ています。

- ・アンケートで「現行のまま」が圧倒的に多いが、設置場所になっていない人の意見としか思えない。戸別で玄関前に出すのが一番公平。

それに対して、市による考え方

- ・ゴミ集積所に隣接しているところではご苦労がおおいことは認識しております。大量のごみを特定の方が管理するという現状を改め、排出するごみは、排出者各自が責任を持ち、ゴミ減量・資源化に取り組むという視点から、戸別収集は有効であると考えております。

つまり、ごみ減量化へ向けて住民を啓蒙しようとしています。

また、袋有料化に伴う違反ごみに関する質問で

- ・不法投棄がふえたりで、まちにゴミが増えてしまうと思う。
- ・アンケート現在でさえ不法投棄に悩まされている。まちがきたなくなる。

市の考え方

アンケートの結果や今回のパブリックコメントでも多くのかたよりご意見をいただいたように不法投棄や不適切排出等の増加は懸念されるところです。対策の強化を図るとともにモラル向上の啓発を進めるよう提言していきたいと考えております。

その後、平成19年に有料化、戸別化が導入されますが、パブリックコメントでは圧

倒的に「現状維持」であった住民の意見は平成24年、ほぼ8割が資源品目別戸別収集に満足という意見になっています。(タウンニュースより)

また、不法投棄に関しては、処理件数、不法投棄ごみ量が
平成18年には 2122件、131t だったものが、
平成29年、 348件、14t
令和2年 193件、12t です。

資料(環境像2、快適でうるおいのある、住みやすい藤沢、p89~p92)

これは、町の職員の方々の負担も減るということではないでしょうか？
違反ごみの後始末は誰でも嫌だと思います。

また、経費は平成16年に 70億円(収集、啓発 14.2億円)
令和2年 85億円(同上 20億円弱)

これは可燃ゴミも含めて戸別収集にした場合の経費増です。

以前も書きましたが、資源物収集の戸別化では差し引き5500万円の増です。

ここからおおよその試算をすることすらできないのでしょうか？

2.改善案：

- ・住民の一部にかかっている負担に行政がもっと真剣に目を向ける。
- ・少なくとも資源物収集は戸別収集にすることで、不適切排出物が出される場所をなくす。
- ・おおまかな試算をだし、住民が考える材料を提供する。

3.改善後の効果：

- ・住民が自分のゴミは自分で管理し、分別をより理解するようになる。(残されたものはだめなのか、とわかる)
- ・町職員の方々も含め、住民が不法投棄常習者の後始末をしなければいけない量が減る。常時、出さない世帯は、自分でクリーンセンターへ持っていつているか、(クリーンセンターで名前を書くのではっきりする)
知人が助けているか(理由はわかりやすい)、どこかへ投棄しているかだと思うので、不法投棄する人間の特定がしやすくなる。
- ・関心のある住民が、ただのガス抜きかと失望しないで済む。

回答

<住民の意向のくみ上げ方と行政の考え方（試算もふくめ）>

【所管：環境課】

日頃より寒川町の環境行政にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

町では、今後のごみ・資源物の収集方法の検討を行うため、昨年の10月に2回、eモニターに対する「家庭から出るごみと資源物に関するアンケート」、また、今年の2月には、田端地区において、ごみ・資源物収集の試験運用を行い、その後、試験運用収集に伴うアンケートを実施し、町民の皆様のご意向の把握に努めてまいりました。今後も必要があれば、アンケート調査などを実施していく予定です。

戸別収集を強く要望されておりますが、他の町民の方から、集合住宅では戸別収集されない、戸別収集が始まり、収集袋の金額が上がるようなことがあれば差別になるというようなご意見もいただいています。このような正反対のご意見もあるということもご理解いただければと思います。

戸別収集の経費につきましては、対象とするごみの種類、収集回数などによって経費は大きく異なります。また試算するには、戸別収集にかかる時間、必要な車両台数、収集員の人数などを把握するための試験運用も必要になります。さらに、収集車両が入れない狭い場所がどれくらいあるか、そこの対応はどうするのかによっても費用は変わってきます。このように試算するにはさまざまな調査や検討が必要でありますし、現状、どのような収集方法、収集回数であったかによっても増額となる費用の幅は全く違ってきますので、他市町村との比較では費用の算出はできないと考えております。

町といたしましては、ごみの収集について、今後も町民の皆様のさまざまなご意見やご意向を把握し、町民のご負担、行政経費などを総合的に検討し、より良い方法の実現を図ってまいります。